



## 平成30年度（10月～12月） まじわーるde〇〇のイベント開催報告です。

### ...de (ド) トーク

10月13日（土）13:00～15:00  
\*6名参加されました。  
今回は、参加者の方がベースを持参して下さり、演奏に合わせて皆で一緒に歌をうたいました。その後は、自分の思い出の曲や好きな曲について語り合いました。又、当日は「さつまいもの日」ということで、参加者の方がさつまいもを差し入れて下さいました。食べて歌って語って大盛り上がりでした。芸術の秋、食欲の秋、ゆったりと楽しく土曜日の午後を過ごすことができました。

### ...deまなぶ：精神障がいについて

11月21日（水）13:30～15:00  
講師：竹田博子氏  
（川崎市井田障害者センター）  
\*7名参加されました。  
様々な精神障がいの中から特に統合失調症をメインに、精神障害者地域移行・地域定着支援についても学びました。事例を通して、精神障がいを抱える人が地域で生活をしていくためには、様々な機関が連携をしていることを実感しました。薬を中断せずに、焦らず時間をかけてゆっくりと丁寧に日常生活を送ることが重要であると学びました。

### しょうがい者サポーター養成講座

11月7日（水）13:30～15:00  
\*3名参加されました。  
「街中で困っている人を見かけても、声のかけ方がわからない」、「声をかけることを戸惑ってしまう」と地域住民の方の生の声を聞くことができました。しょうがい者サポーター養成講座では、そんな時の「ヒント」となるようなお話しをしています。  
困っている人を見かけたら、まずは気にかけて「見守る」ことも大切なことです。  
障がいについて「知る」ことが第一歩であることを実感しました。

“きまっしー”は、今年もさまざまな「まじわーるde〇〇」を企画しますので、皆さまのご参加、お待ちしております。

### ...de(ド) トーク @宮前市民館

11月13日（火）13:30～15:00  
\*宮前市民館4階第3会議室で行いました。  
\*16名参加されました。  
今回の市民館トークは、参加者の皆さんの施設や個人の自主製品の発表会をしました。製品を実際に手に取って見ながら、頑張っていること、工夫していることを発表しました。バッグやさりを織り等心のコもった素敵な作品を見ることができました。又、トークの後半では、標識やマークについてのお話しをしました。しょうがい者サポーターの「サポちゃん」マークを伝えることができました。

### ...deクレイデコ

10月25日（木）13:30～15:00  
講師：矢島葉子氏  
\*8名参加されました。  
ハロウィンの季節に、特殊な粘土でカボチャの置物を作りました。粘土をこねて、形を整えて、好きな飾りをつけました。「難しいけど楽しい！」「飾りをたくさんつけたい！」とわいわいおしゃべりをしながら、個性的で素敵な作品ができました。皆で楽しくハロウィンの準備ができて良かったです。



### 出張！

しょうがい者サポーター養成講座  
対象：1stサポーターズ宮前  
会場：福祉パルみやまえ  
12月18日（火）11:00～12:00  
\*6名参加されました。  
しょうがい者サポーター養成講座を出張で実施しました。3面の記事にある、1stサポーターズ宮前の方からのご要望で実施しました。しょうがい者サポーター事業と同時にきまっしーの役割についてもご理解を頂きました。質疑応答では、地域のニーズを知ることができ、きまっしーの今後の活動のヒントを得ることができました。終了後、サポーターズのご好意で茶話会を開いてくださり、皆さんとも交流を図ることができました。



### ...de (ド) トーク

12月8日（土）13:00～15:00  
\*4名参加されました。  
12月ということもあり、クリスマスパーティーをしました。フェルトに飾りをつけてツリーを作りました。おしゃべりをしながら個性豊かなツリーができあがりました。集中してツリーを作った後は、甘いケーキを食べてゆっくりと休憩をしました。又、今年最後の「まじわーるdeトーク」ということもあり、今年一番の思い出や来年の抱負について、皆で楽しくおしゃべりをしました。



### ...deクリスマススワッグ

12月8日（土）13:00～15:00  
講師：八木美穂氏  
\*12名参加されました。  
「スワッグ」という壁飾りをクリスマス仕様で作成しました。講師の八木さんは材料を一つ一つ丁寧に説明して下さい、作成時のコツを教えてくださいながら作りました。スワッグは見た目よりも作るのが難しく、お互いに相談をしながら作りました。コミュニケーションが生まれ、楽しくクリスマスの準備ができました。季節のものを使って作る楽しさを実感しました。



### 【編集後記】

今号の季刊紙はいかがでしたでしょうか。  
平成の元号も今年で終わり新たな元号の年でもあります。  
オリンピック・パラリンピックも一年後を見据え各地で様々なイベントが計画されています。  
きまっしーも昨年以上に地域交流を図り、しょうがい者サポーターの推進やトーク、イベント等にも力を注いでまいります。  
障がいのある人もない人も安心して共に暮らしていける地域社会を目指していきます。  
猪突猛進しすぎてコケないように気を引き締めていきますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



# 季刊 まじわーる 新春号

発行日：2019年1月1日  
発行元：社会福祉法人みのり会  
生活支援センターきまっしー  
連絡先：宮前区馬場6丁目10番33号  
まじわーる宮前2階  
TEL 044(855)1011  
FAX 044(855)1022  
kimassi@tobe-kobato.or.jp

<https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/>

## あけましておめでとうございます

生活支援センターきまっしー 管理者 阿部千鶴子



皆さま、新しい年が明けました！ 当事業所も開所して3年、地域の皆様に少しずつでも、障がいを理解していただく事を中心に活動してまいりました。おかげさまで昨年は、いろんなところで「きまっしー」の活動が地についてきた事を感じさせていただく事ができました。

しかし、まだまだ不足している事がありますので、今年も地域の皆様にご協力やお願いごとをしながら「きまっしー」は今年の干支イノシシのように突進とまではいきませんが前に進んでいきたいと考えております。今までの継続と共に、今まで行ってきたことを土台に次のステップに進む1年にしたいと考えております。

障がいについて、しょうがい者サポーター等について、困りごと・疑問なこと・要望がございましたら職員一同いつでもお待ちしておりますのでご連絡ください。

### 今年もよろしくお願いいたします。



### 【雪で遊ぶ子供たち】

### 地域活動支援センター アトリエ言の葉

〒216-0015  
川崎市宮前区平1丁目1-17 ミタテビル202  
TEL 044-948-5983 FAX 045-948-5984

詳しくは [アトリエ言の葉](#)

### 浜村 啓子さん (アトリエ言の葉)

彼女はアクリル絵具を使い、大胆なタッチで描き上げます。  
身体全体を使いながら描くスタイルは、描く過程からまさにアートです。  
近年では、アクリルの上からペンなどでイラストを描くなど、日々進化していて、彼女らしさが魅力的に反映されている作品ばかりです。

※ オリジナルグッズなどの販売も行っています。







# ふれあっていく ささえあっていく しょうがい者サポーター



【サポちゃん】

宮前区の人口と各障害者手帳所持者数

単位：人

区分	平成29年
宮前区人口	228,553
身体障害	5,295
知的障害	1,514
精神障害	1,714
計	8,523

平成30年「第4次かわさきノーマライゼーションプラン改訂版」が発行されました。その中でいくつか興味ある項目がありましたので抜粋して紹介します。

- 「川崎市における障害児・者の現状」において市内における人口と各障害者手帳所持者数の推移（平成18年と平成29年）が出されました。人口増加率で比べると各障害者いずれも人口増加率を大きく上回っているとのことです。  
左の表は、上記の推移を参考に川崎市の統計書から平成29年の宮前区の人口と各障害者手帳所持者数を宮前区に絞って「宮前区の人口と各障害者手帳所持者数」として調べてみました。
- 障害のある方の生活ニーズ調査結果では、「住まいについて」で「自宅で親や親族などと生活したい」が最も高く次いで「一人で生活したい」との回答があり地域での生活を考えることがうかがえますとまとめられていました。
- 同じく「ともに地域で暮らすために力を入れるべきことについて」では、障害や病気を正しく理解する機会の提供や地域とともに暮らすことが求められていますとまとめられていました。

※平成29年4月1日現在  
※身体障害・知的障害は健康福祉局障害福祉課調べ  
※知的障害は判定のみを受けて療育手帳を所持しない方も含む  
※精神障害は健康福祉局精神保健福祉センター調べ

- 団体ヒアリング（ニーズ調査ではとらえきれない障害当事者や家族、支援者団体）の主な意見では、「心のバリアフリーに関すること」で「・障害のある子どもと障害のない子どもが両方まじりあえる場があるとよい。」「・地域で暮らしていくためには、地域や企業など周囲の理解が必要。」「・川崎市に住む障害者の一人として、障害者のことを語れる場があるとよい。」「・義務教育の中で障害について勉強することが大事。」とまとめられていました。

単位：人

右の表は、平成30年12月18日現在の「しょうがい者サポーター登録数」です。各障害者手帳を持っている方が宮前区では約8,500人ほどいて、生活ニーズも地域での生活を望まれています。2年前に始まった「しょうがい者サポーター」事業も今では200名を超す登録をいただきました。しかし統計からみると障がいのある方のニーズに応えるにはまだまだと実感しています。

しょうがい者サポーター登録者数	218
-----------------	-----

一人でも多くの方に、しょうがい者サポーターになっていただき、障がいのある人もない人も皆が暮らしやすい街になるように「きまっしー」はさまざまな活動を通して取り組んでまいります。今年も引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 号外 “しょうがい者サポーター交流会”のお知らせ

●平成31年2月16日（土）10：00～12：00  
「まじわーる宮前 あーる工房 2F食堂」にて、「しょうがい者サポーター交流会」を行います。当日は、地域のグループホームを利用し車イスで生活をしている当事者の方をお呼びし、地域での暮らしについてお話をさせていただきます。その後茶話会を開き、登録者同士の交流を深めたいと企画を進めています。

※サポーター登録者の皆さまには、  
ご案内を送付いたしました。  
ご参加をお待ちしております。



## 2019イベント Calendar 1月～3月

- 1月24日（木） 13:30～15:00  
まじわーるdeまなぶ（発達障がい①）
- 2月 2日（土） 13:00～15:00  
まじわーるde（ド）トーク
- 2月16日（土） 10:00～12:00  
しょうがい者サポーター交流会
- 3月 2日（土） 13:30～15:00  
まじわーるdeまなぶ（発達障がい②）
- 3月 5日（火） 13:30～15:00  
しょうがい者サポーター養成講座



## 区内で活動する福祉団体の紹介コーナー

# 1st サポーターズ 宮前

今回は、宮前区を中心に活動する『1st（ファースト）サポーターズ 宮前（みやまえ）』の紹介です。

学校や家庭生活につまづきのある子どもを持つ親が中心となって集まり、平成20年秋に発足しました。現在、会員数は40名くらいとのことです。

学びたい意欲はあるのに、学びの方法が独特なために自力で学校の教科学習についていけない力がなかなかつかない。独特の感覚を持っているためにお友達との関係を上手く作れない。

身体の使い方を上手くコントロールできないなど、さまざまな理由から学校や家庭生活につまづきを持った子どもたちに、母親というだけでなく心から頼ることのできる『いちばんめの支援者』として活動を行っています。

何度か「サポーターズカフェRing」におじゃましましたが、カフェではお母さん同士が集まって子どもの就労の話や後見人の話など、子どもの将来を心配する母親としての姿がそこにはありました。

現在は、活動場所を2ヶ所（福祉パル・宮前市民館）で行い情報交換や勉強会、気軽におしゃべりを楽しむことでお母さんたちの元気な笑顔が生まれているとのことです。

詳しくは、HP（ホームページ）をご覧ください。

1stサポーターズ宮前

### 【つまづきの例】



### サポーターズミーティング

開催日時：毎月第3火曜日（月によって変更有）10：30～14：30  
場 所：福祉パル宮前（宮前区宮崎2-6-10 宮崎台ガーデンオフィス4階）  
対 象：子育てに悩んでるお母さん  
持 物：飲み物／軽食（おにぎり等）  
参加 費：100円

### サポーターズカフェ Ring

開催日時：毎月第1火曜日（月によって変更有）10：30～14：00  
場 所：宮前市民館2Fロビー（図書館前）  
賛 同 費：100円



## 第17回 みやまえ福祉フェスティバル に行ってきました～

平成30年11月25日（日）、暖かな日差しの下、宮前市民館及び広場を利用して宮前区社会福祉協議会主催による「第17回みやまえ福祉フェスティバル」が開催されました。宮前区社会福祉協議会は、きまっしーの地域交流事業にスタート当初から関心をもって協力してくださり、地区社協や自治会などへの紹介や「しょうがい者サポーター」については「後援」という力強いバックアップをいただいております。

今年のフェスティバルは「～体験して地域の福祉を知ろう～」とのテーマのもとに各ブースではさまざまな福祉体験がありました。

大ホールでは「福祉大会」や「映画上映（『海よりもまだ深く』）」、館内ではポッチャ体験や昔遊び、リトミックやハンドメイド作り、耳が聞こえない・目が見えないことの疑似体験コーナーでは、伝達方法なども紹介されコミュニケーションツールとしての機器を身近に感じることができました。その他にも認知症フォーラムや健康元気度チェック、福祉施設や区社協などの取り組みが紹介されていました。また広場では、障がい者施設による製品販売や地区社協による模擬店などがオープンし、お昼時になると各ブースでは行列ができるほどの賑わいを見せていました。

老若男女・障がいのある人もない人も楽しめるように考えて作られたフェスティバルだったように感じました。

あいにく全ブースの会場を見て回ることはできませんでしたが、フェスティバルに訪れた方々からは「楽しかったね～♡。」といった声も聞こえてきました。来年の開催も楽しみな福祉フェスティバルでした。



【馬のマリーヌ】



【宮太郎】



【犬のマーク】